

スペイン語の再帰動詞に見られる強意の用法について
「稼ぐ・勝つ」を意味する *ganar(se)* の考察

強意の再帰動詞：スペイン語には“自分自身を・自分自身に”という意味で用いられる再帰代名詞(*me, te, se, nos, os, se*)がそのような再帰的な意味を失い強意の意味を表す用法が存在する。今回はこれらの *se* に関する先行研究を概観し、その後「稼ぐ・勝つ」に当たる“*ganar*”に見られる再帰代名詞の用法を考察する。

強意の再帰動詞の用例

- a. ¿Vas a comer**te** todo ese filete? (そのステーキを全部食べるつもりなのかい)
 - b. **Nos** leímos bien el contrato. (契約書は全部読みました)
 - c. **Se** perdieron lo mejor de la película (その映画の最も良いところを見逃した)
 - d. **Os** habéis dejado la escritura en el bar. (そのバーに書類を置いていってしまったよ)
 - e. **Se** llevó la mejor parte. (彼は最も良いところを持って行ってしまった)
 - f. No **me** creo esa barbaridad. (私はそんなばかげたことは信じない)
 - g. **Se** sabe la partitura de memoria (彼はその楽譜をすっかり記憶している)
- [Gutiérrez Ordóñez Salvador: 1999, 1910]

1. 1. 中級スペイン語文法： (1995: 385)

動詞の表す状態・動作に場所・時・方法・手段などの状況的な意味が付加されてくる。

(1) 主語いる・ある場所で起こる行為： 再帰代名詞は主語と同じものを指し、直接目的語にも間接目的語にもなる。直接目的か間接目的語化解釈することが難しく、特殊なニュアンスを表現しているものもある。

- *morirse*「死ぬ」：病気などで自然に死ぬ時は再帰動詞になりやすい。
Pedro se murió de un ataque al corazón. (ペドロは心臓発作で死んだ)
Juan se muere de vergüenza. (フアンは恥ずかしくて死にそうだ)
- *dormirse*「眠り込む」
El niño se ha domirido en el sofá (その子はソファで眠った)

(2) 主語のいる・ある場所から始まる行為：移動の動詞の中には再帰動詞になることで、主語のいる・ある場所を暗示するものがある

- *caerse*「落ちる」：主語の場所が意識されなければ再帰動詞にならない。
La manzana se han caído del árbol. (りんごが木から落ちた)

Mi abuela se cayó por la escalera (祖母が階段を転げ落ちた)

Cf: La lluvia caía suavemente sobre la hojarasca. (雨が枯れ葉に静かに降り注いでいた)

- irse「立ち去る・出かける」：再帰動詞になると、主語が「その場を離れる」意味が加わる
Bueno, ya me voy, que es tarde (もう遅いので帰ります)

Cf: Bueno, ya vamos a casa de Matilde (さあそろそろマティルデの家に行きますよ)

(3) 完全に行われる行為：飲食などの意味の動詞の中には再帰動詞になると、主語の動詞への特別な関わりを暗示し、その行為の「完全な遂行」を意味したりするものがある。

- beberse「飲み干す」：再帰動詞になると「残らず飲み干す」という意味になる。

Se bebió un litro de vino. (彼はワインを一リットル飲み干した)

Cf: Juan bebe mucho vino.

- ganarse「稼ぐ」： Pedro se ganó 500 mil yenes en las vacaciones (ペドロは休暇中に50万円も稼いだ)

1.2. De Miguel y Fernández Lagunilla (2000)：いわゆる強意の se に限らず、以下の例文で許容される se は述部が当該事象において限界点に達した結果、状態変化が生じたことを示すアスペクト的特徴を持つと定義。

- 3) a. Juan se murió ayer. (フアン昨日亡くなった → その結果今は亡くなった状態)

b. El libro se cayó del estante. (本が棚から落ちた → 本が落ちた状態)

c. Juan se bebió una caña / *cerveza.

(フアンはビールを飲み干した → 飲み干されて残っていない状態。)

d. Juan se ha visto toda la película / *cine inglés. (フアンはその映画を全て見た)

1.3. Montserrat Sanz y Itziar Laka (2002)：他動詞構文のアスペクトの se は動詞を含む述部が計測可能な補語(complemento de medidas)によって限定される場合にのみ共起可能。再帰代名詞が出現しない述部とは過程→極点→結果状態が認識される点で異なる。

- 4) a. Pedro (se) comió una paella. (ペドロはパエリアを食べつくした)

b. Mi hermano (se) leyó un libro. (私の兄弟は本を読んだ)

c. Juan (se) lavó todos los platos. (フアンは皿を全て洗った)

d. Pepe (se) regó el jardín de arriba abajo. (ペペは上から下まで庭に水をかけた)

2. 1. 「勝つ・稼ぐ」を意味する “ganar(se)”に見られる再帰代名詞の用例。

- a. (?Se) gana un millón de euros al mes. (彼は1カ月で100万ユーロ稼ぐ)

- b. (??Me) gané mil libras a la lotería. (私はくじで1千ポンド稼いだ)
- c. ¡Enhorabuena! (Te) has ganado mil euros.
(おめでとうございます、100ユーロ当たりました)
- d. Esta película (*se) ha ganado un Óscar (その映画はオスカーを勝ち取った).
- e. El director (se) ha ganado el Óscar al mejor director.
(その監督はオスカーの最優秀監督賞を勝ち取った)
- f.??(Se) sabe ganar el respeto / el cariño de los demás.
(彼は他者の尊敬 / 愛着を勝ち取った)

2.2. インフォーマント調査による考察

i. [+ プロセス・努力]

- a. El director está muy contento porque le han reconocido todos los esfuerzos que dedicó a la película y (se) ha ganado el Óscar al mejor director.

(その監督は映画に対して捧げた努力が認められ、オスカーの最優秀監督賞を獲得したので、とても満足している)

- b. El director está muy sorprendido, porque con la película que hizo a la buena de Dios, (*se) ha ganado el Óscar al mejor director.

(その監督は成り行きに任せて作成した映画で、オスカーの最優秀監督賞を獲得したのでとても驚いている)

- c. Yo (me) gano un millón de euros al mes porque hago todo lo posible para que mi sueldo alcance a esa cantidad.

(私は給料がその額に至るようありとあらゆる努力をしているので、1月に100万ユーロ稼いでいる)

- d. Soy empresario y (*me) gano un millón de euros al mes.

(私は経営者で、1月に100万ユーロ稼ぐ)

ii. 再帰代名詞が省略不可となるケース: 比喩的な獲得[+ 感情]

- a. Luis ??(se) sabe ganar el cariño de los demás

(ルイスは他人の愛着を得るすべを知っている)

- b. Desde su ingreso al colegio, José ??(se) ha ganado la admiración

(ホセはその学校に入学して以来、尊敬を勝ち取っている)

2.3. まとめ

- i. 強意の再帰形である“ganarse”は単に“額”の大きさではなく、その額を得た“努力”が認識される必要がある。
- ii. “感情を獲得する”という比喩的な用法の場合には再帰代名詞の使用が義務的となる点でより定型的な表現となっている。

参考文献

- De Miguel, E. y Fernández Lagunilla, M. (2000): “*Revista Española Lingüística*, 30, 1”,
El operador aspectual se, págs 13 -43”:
- Gutiérrez Ordóñez, S. (1999): “Los dativos” en I. Bosque y V. Demonte (eds.) *Gamática descriptiva de la lengua española*, Madrid: Espasa Calpe
- 三好準之助(1995)「中級スペイン語文法」山田善郎(監修)：白水社
- Sanz, M. Y Laka, I. (2002): “Oraciones transitivas con *se*: *el modo de acción en la sintaxis*”, C. Sánchez López (ed.), *Las construcciones con se*, Madrid: Visor Libros